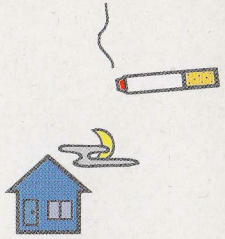
子供への虐待とは

保護者（親、または親にかわる養育者）によって子供に加えられた行為で、次のように分類されますが、ほとんどの場合重複して起こっています。

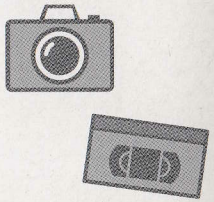
身体的虐待

- 叩く、殴る、けるなどの暴力
- タバコの火などを押しつける
- 逆さづりにする
- 冬戸外に長時間しめだす　など



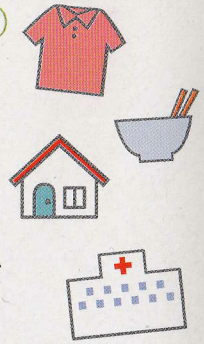
性的虐待

- 子供への性交、性的暴力
- 性器や性交を見せる
- ポルノグラフィーの被写体などにする　など



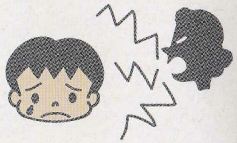
ネグレクト（養育の放棄又は怠慢）

- 適切な衣食住の世話をせず放置する
- 病気なのに医師にみせない
- 乳幼児を家に残したまま度々外出する
- 乳幼児を車の中に放置する
- 家に閉じこめる（学校等に登校させない）
- 保護者以外の同居人や自宅に出入りする
  第三者による虐待を保護者が放置する　など



心理的虐待

- 無視、拒否的な態度
- ば声を浴びせる
- 言葉によるおどかし、脅迫
- きょうだい間での極端な差別扱い
- ドメスティック・バイオレンス
  （配偶者に対する暴力）を行う　など
- 子供のきょうだいに虐待行為を行う　など



虐待を受けた子供たちは…

虐待は子供たちに深刻な影響を与えます。

◆発育・発達の遅れなどの身体症状
◆情緒不安定、感情抑制、強い攻撃性などの精神症状

があらわれることがあります。
他人とのコミュニケーションがうまくとれず、様々な問題行動を引き起こすこともあります。また、成長するにつれて、極度の自己嫌悪や自殺願望、アルコールや薬物依存に結びついたり、次の世代に引き継がれていくこともあります。

虐待をする親たちは…

虐待する親たちの背景には

◆子育ての悩み
◆周囲からの孤立
◆家庭の不和
◆親自身が虐待を受けて育ってきた
◆経済的な問題

など様々なストレスや葛藤があります。そして苦しんでいても助けを求められずにいます。親を非難するだけではなく、家族を支援していくことが必要です。

子育てをしている方へ

イライラしてつい必要以上にしかったり、たたいたりしていませんか？
「このままでは虐待をしてしまうのでは…」「もしかしたらこれって虐待では…」と悩んでいませんか？
子供への虐待は子育ての不安から始まることがよくあります。
様々なストレスがきっかけになって虐待をしてしまう…
それは決して特別なことではありません。同じように悩んでいる人はたくさんいます。
一人で悩まないで、信頼できる人や相談機関へ相談して下さい。
あなたの周りには相談にのって、手助けをしてくれるところがたくさんあります。
一緒に考えましょう。

まわりの方へ

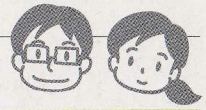
「おやっ？」と思ったら、一人で悩まないで、相談機関に心配な思いを伝えましょう。
あなたの一言が子供と親をすくうきっかけになります。

こんな「子供」と「保護者（親）」が心配

程度や頻度にもよりますが、つぎのようなことに気づいたら、相談機関に連絡・相談してください。

子供について

- □ いつも子供の泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- □ 不自然な外傷（あざ、打撲、やけどなど）が見られる
- □ 極端な栄養障害や発達の遅れが見られる（低身長・低体重）
- □ 衣服や身体が極端に不潔である
- □ 食事に異常な執着を示す
- □ ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- □ 表情が乏しく活気がない（無表情）
- □ 態度がおどおどしており、親や大人の顔色をうかがったり、親を避けようとする
- □ 誰かれなく大人に甘え、警戒心が薄い
- □ 夜遅くまで遊んでいたり、徘徊している
- □ 家に帰りたがらない



保護者（親）について

- □ 地域や親族などと交流がなく、孤立している
- □ 小さい子供を家に置いたままよく外出している
- □ 子供の養育に関して拒否的、無関心である
- □ 子供を甘やかすのは良くないと強調する
- □ 子供に対して拒否的な発言をする
- □ 気分の変動が激しく、子供や他人にかんしゃくを爆発させることが多い
- □ 子供が怪我をしたり、病気になっても医者に診せようとしない
- □ 子供のけがについて不自然な説明をする